

加古川平成ロータリークラブ

会 長 好 崎 泰 州  
幹 事 原 田 悟  
広報小委員長 畑 山 哲 人  
2680 地区ガバナー 阪 上 栄 樹

例会日/毎水曜日 12:30~13:30・例会場/加古川プラザホテル  
事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館  
Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100  
ホームページ <http://www.k-heisei-rc.jp/> / Eメール [heiseirc@basil.ocn.ne.jp](mailto:heiseirc@basil.ocn.ne.jp)



イマジン  
ロータリー

2022~2023 年度 RI 会長 ジェニファーE. ジョーンズ

No. 1498 September 7、2022

例会プログラム

第8回(9月 7日)

DVD鑑賞

「米山記念奨学生紹介」

米山記念奨学委員会

例会当番 原田

次週例会プログラム

(9月 14日)

「3クラブ合同例会・1500回例会  
について」

原田 悟幹事

次週例会当番 藤田

前週例会報告

- ◇ ゲスト
- ◇ ビジター
- ◇ 出席率 会員数 16名 出席数 12名 欠席数 2名 出席率 85.71%  
出席計算会員数 14名 7月 20日 補正出席率 85.71%
- ◇ 欠席者 藤田 松尾
- ◇ メークアップ 2022年9月3日 危機管理・青少年奉仕セミナー 鳥井  
2022年9月4日 公共イメージセミナー 畑山



★ 会長の時間

★ 幹事報告

★ 卓話 金川会員

## 入院の報告 パート 1

しばらくぶりの例会です。椎間板ヘルニアの手術のため1か月間多くの方にご負担をおかけしました。どこをどのようにしたのかと色々と言われましたので簡単にお答えいたします。

10年以上前からひどい腰痛に悩まされておりました、色々病院を訪ねたのですが、なかなか難しい処だと云われ緩和ケアを中心に治療して来ましたが、6年前に何とか専門的な治療をしていただくドクターが見つかりましたので、半年ほど京都の病院に通い場所を特定して手術を行い、骨盤のすぐ上の骨を4か所削ったり、間隔を広げたりといたしました。ついでに首も骨が神経を押さえている処が在りましたのでボルトで固定致しました。

腰は、ボルトを使つての固定をしますと体が曲がらなくなりますので、固定具無しで済ましていただきました。

今回は、この5年間3か月に1度のペースで検査・緩和ケアを行つて来ましたが、前回の施術を行つた上の背骨2本に負荷がかかっているのと、昔の古傷もありまして、そこを削り間隔を広げたり致しました。所要時間は5時間の予定が4時間で終わり、麻酔も醒め早めに部屋に帰ったのですが、血圧が急に低下し大量の出血(約1200CC)が発生し慌てて止血のための緊急手術を行いました。最初の麻酔が醒める夢うつつの中、やばい500CCを超えた、ドクターを呼んでと看護師さんが叫んでいるのが聞こえてきますが、頭は冴えてますが体は、達磨さんです。すぐに緊急手術で止血をしていただき、2度目に目が覚めた時は集中治療室でした。何とど真ん中のベッドでしたので、看護師さんたちの動きがよく見え退屈せずにおりましたが、消灯時間後痰の吸引用のナースコールが順番に鳴ります。向こうは慣れていますが、僕は初心者ですので麻酔が醒めかけていますのでなかなか眠れません。ウトウトとしましたらすぐに2ヶ所3ヶ所と鳴りまして目が覚めます。ぼやけている意識の中で何だかつらい一日でした。

病室に帰っても両腕に点滴の針と管が付いていまして、痛み止め・抗生物質・二日間絶食でしたので栄養剤と24時間ポトポト落ちています。ついでに背中には尻尾のように傷跡から染み出す体液などを吸い取る(ドレーン)管が付いていましてトイレに行くのに一々ナースコールで呼んでドレーンのケースを首にかけていただきトイレに入り、出たは又ナースコールで来ていただきドレーンのケースや点滴を戻していただきます。

日毎にチューブは1本減り、2本減りと段々と少なくなり、一人で動ける範囲が広がると、早く家に帰って冷たいビールを飲むために、毎日、何回も四股を踏んだり、スクワットをベッドの柵を握りながら、1回の回数を10回・20回と増やしていき、28日に手術を行い、3日には退院レベルになるまでにガンバリマシタ。

6日に家に帰ってからは、神社の中を朝晩二周・三週とひたすら歩きリハビリに努めましたところ、腰痛のような症状が出ましたので病院で診てもらいましたら、歩き過ぎと言われまして、1日3000歩に制限されております。

体調はまだまだ100%ではないので、皆さんのご協力よろしくお願ひ申し上げます。

## 本日の幹事報告

※ 例会欠席の時は必ず事前に事務局へ連絡!

## ① 各RC例会変更のお知らせ

加古川中央RC 9月8日(木) 尚齒例会 午後6時~→午後12時30分~13時45分  
於;加古川プラザホテル2階

高砂RC 10月7日(金)→職場例会 於;株ソネック

10月14日(金)→休会【定款第7条第1節(d)による】

## ② 回覧します

- ・The Rotarian September、2022 (ロータリーマガジン誌)
- ・2022-23年度ポリオ根絶チャリティーゴルフコンペのご案内
- ・(公財)米山梅吉記念館より秋季例祭参加申込書、賛助会ご入会のお願い、館報2022 vol.40
- ・「第20回記念ロータリー全国囲碁大会」のご案内
- ・(公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団より令和4年度サマープログラム募金ご協力のお礼

- ・地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内(神戸西神 RC)、(神戸須磨 RC)
  - ・熊本平成ロータリークラブ週報
- ③ Boxに月信、Rの友、1500回例会のご案内、加古川ロータリークラブ、加古川中央ロータリークラブ会報誌、はぐるま会報 No. 120 を入れています。
- ④ R I より網本会員、原田会員にポール・ハリス・フェロー(PHF) の襟ピンと認証状が届いております。
- ⑤ 例会終了後にそのまま例会場で定例理事・役員会を開催します。

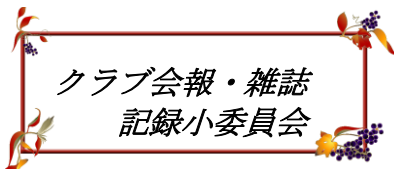
## SONG TODAY

### 手のひらに太陽を

作詞：やなせたかし 作曲：いずみたく



ぼくらはみんな 生きている 生きているから 歌うんだ  
ぼくらはみんな 生きている 生きているから かなしいんだ  
手のひらを太陽に すかしてみれば まっかに流れる ぼくの血潮  
ミミズだって オケラだって アメンボだって  
みんな みんな生きているんだ 友だちなんだ



## 米国と欧州での最近のポリオ検出に関する ロータリーの声明

最近、米国ニューヨーク州でワクチン由来ポリオウイルス2型が検出され、英国ロンドンで収集された複数の環境サンプルからウイルス分離株が確認されたことは、ポリオが世界のどこかに存在する限り、どの国においても脅威であることを改めて思い知らせるものとなりました。これらの事例は、ポリオをはじめワクチンで予防可能なほかの疾病から身を守る唯一の方法としての予防接種の重要性、および予防接種を奨励するために地域社会で引き続き行うべき活動の重要性を明らかに示しています。世界で野生型ポリオウイルスの症例数がゼロに近づく中、ポリオがなくなった地域も含め、あらゆる形態のウイルスを追跡することの重要性が高まっています。

全人口におけるワクチン接種率が高い米国では、まひを引き起こすポリオのリスクは引き続き低いと考えられています。子どもが十分なワクチンを受けていれば、ポリオによってまひを発症するリスクはごくわずかです。[米国疾病対策センター \(CDC\)](#) によると、生後24カ月の子どもの92.6%がポリオ予防接種を受けており、これは世界保健機関 (WHO) の目標である95%をわずかに下回るレベルです。

世界からポリオが根絶されるまで、ポリオから身を守るために各国が取ることのできる最善の策は、高い予防接種率と徹底的な疾病サーベイランスを維持すること、および、ポリオ発生に備えることでウイルスの再流入や再発生のリスクと結果を最小限に抑えることです。

現在、世界でポリオウイルスの伝播を永久に食い止めるチャンスが訪れています。とはいえ、寄付者や各国政府を含め、あらゆる関係者が[世界ポリオ根絶推進活動 \(GPEI\)](#) の 2022-2026 戦略を全面的に支持することで、ポリオ根絶への決意を新たにしなければなりません。

この戦略は、野生型ポリオを根絶し、変異型ポリオウイルス (cVDPV) の発生をなくすために、各国政府からのさらなる説明責任と当事者意識を促しながら、緊急時の態勢を整えることに焦点を当てています。ロータリーは、140 万人以上の会員を擁する世界的な奉仕団体であり、30 年以上にわたり、世界的なポリオ根絶活動の中心的存在となってきました。ロータリーは毎年、ビル&メリンダ・ゲイツ財団との資金提携を通じて、世界的なポリオ根絶の取り組みに 1 億 5,000 万ドルを拠出することに力を注いでいます。ポリオを永久になくすため、ロータリー会員はこれまでにボランティアとして多くの時間を捧げ、26 億ドル以上の資金を投じてきました。また、パートナー団体とともに世界中の地域社会に働きかけ、毎年 4 億人以上の子どもに予防接種を行うことで、高いワクチン接種率を促しています。ロータリーやパートナー団体による予防接種活動がなかったら、今日、さらに 2,000 万人以上がまひを患っていた可能性があります。

今こそ全力で行動するときです。新型経口ポリオワクチン 2 型 (nOPV2) の使用が開始されており、このワクチンは伝播型ワクチン由来ポリオウイルスの発生を抑える遺伝子的安定性が従来よりも高いものです。政治的・資金的なコミットメントが維持されれば、いかなる子どももポリオによるまひに苦しむことのない世界を実現できると、GPEI は確信しています。

2022 年 8 月 18 日